

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦




記

事業の名称	コミュニティ誌発行事業
事業実施前の状況	協議会の存在や活動内容について、徐々に理解してもらっている。
事業実施後の状況	校区に居住する住民に、協議会の活動報告やアンケート調査の実施により、協議会の活動について理解を得たり、地域住民の考え方などを知ることができた。
事業の効果	校区に居住する住民に、協議会の活動内容を周知することにより、理解、協力と参加を促進することができた。
今後の課題等	今後も益々内容の充実を図り、毎年実施している事業のお知らせや協議会への参加を促進していきたい。

平成24年5月/日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 


記

事業の名称	青パト隊パトロール事業
事業実施前の状況	新規購入した青パトでの呉服小学校区内の巡回パトロールの実施により、各種犯罪の抑止効果を図る。
事業実施後の状況	パトロール隊のベストの購入により、隊員の自覚を高め、巡回回数や巡回範囲の拡充を図ることができた。
事業の効果	呉服小学校区内の細い道まで巡回範囲を広げることにより、各種犯罪の抑止効果に車両を活用できた。
今後の課題等	より一層の巡回活動の充実を図る。

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 


記

事業の名称	地域コミュニティ推進協議会拠点整備事業
事業実施前の状況	共同利用施設呉服会館の1室を利用し、地域コミュニティ推進協議会の活動拠点とするため、部屋の整備をする。
事業実施後の状況	共同利用施設呉服会館の小会議室を拠点とした地域活動の活性化を図られた。
事業の効果	協議会における役員会や各部会の活動が活発に展開され、地域分権推進に大いに役立っている。
今後の課題等	小会議室の再整備と備品購入で協議会活動の更なる活性化を図る。

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 

記

事業の名称	地域内会館備品整備事業
事業実施前の状況	地域内の共同利用施設桃園会館と宇保会館の会議用机が老朽化しているため、利用者から買い換えの要望がある。
事業実施後の状況	共同利用施設桃園会館と宇保会館の老朽化した会議机を新規に買い換えることにより、利用者の賛辞の声を届いた。
事業の効果	以前の机は老朽化も激しかったが、重くて利用者であるお年寄りには負担であった。綺麗で軽量化された机は大いに歓迎されている。
今後の課題等	他の共同利用施設の備品も買い換えを検討していきたい。

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 印



記

事業の名称	地域掲示板設置事業
事業実施前の状況	地域内にある自治会の掲示板が老朽化が激しいため、広報活動に支障があった。
事業実施後の状況	老朽化した掲示板に変わり、新たに設置した掲示板は、ワイドで大きなポスターも充分張ることができ、住民からも賛辞の声があった。
事業の効果	ワイドで見やすい掲示板に付け替えたため、地域の広報活動が活発化した。
今後の課題等	地域のお知らせや地域コミュニティ推進協議会の活動も、この掲示板を通じて地域住民に広く知らせることができる。今後も広報活動の充実を図る。

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 印



記

事業の名称	文化祭開催実施事業
事業実施前の状況	校区内での文化事業は、前年まで盆踊り大会を実施していたが、今年度は趣を変えて実施した。
事業実施後の状況	呉服小学校の吹奏楽や子どもファッションショー等を開催することにより、校区に一体感が生まれた。
事業の効果	開催内容（呉小吹奏楽の演奏、子どもファッションショー等）の検討や準備を校区の住民と協力しながら行うことにより、人間関係も構築され連帯感が生まれた。
今後の課題等	流し素麺は呉小児童と先生による自主的な作品を考えると、本当に地域にとけ込んだイベントであり、より一層の連帯感を生み出した。

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれば地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦



記

事業の名称	地域イベント備品整備事業
事業実施前の状況	校区の住民が参加するイベントでの備品等が不足しているため、新規購入を図る。
事業実施後の状況	地域住民がイベント等で使用する大型テントを新規購入する。
事業の効果	校区での防災訓練時などで大型テントを使用した結果、利用者からの喜ばれ、更なる連帯感が生まれた。
今後の課題等	地域の連帯感を更に強める意味でも、合同で各種イベントを開催するためにも、更に新規備品の充実を図る。

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦



記

事業の名称	呉小吹奏楽クラブ支援事業
事業実施前の状況	呉服小学校の吹奏楽クラブの楽器が老朽化していて、正確な音程を出せない状態である。
事業実施後の状況	老朽化した楽器を新規購入することで、古い楽器を新しく入ってくる児童の練習用に活用している。
事業の効果	新しい楽器演奏で技術の向上に役立つとともに、練習用の楽器ができたことで更なるレベルアップが図れる。
今後の課題等	老朽化した楽器を年次計画（3～5年）によって新規購入を図る。

平成24年5月7日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦



記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	地域のスポーツ振興会が開催している市民レクリエーション大会に、池田市が報償費として支出していた。
事業実施後の状況	池田市に代わり、当協議会が行事報償金として支出する。
事業の効果	市民レクリエーション大会に当協議会が参画することでコミュニケーションの向上が図れる。
今後の課題等	他地域の行事報償報奨金とも検討し、校区の市民レクリエーション大会が活性化するよう努める。

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦



記

事業の名称	グリーンベルト設置事業
事業実施前の状況	児童が通学する道路が車歩分離されていなくて、交通事故等に遭う可能性のある危険な通学路である。
事業実施後の状況	危険な通学路にグリーンベルトを敷設することで、児童の安全性が図られる。
事業の効果	通学路にグリーンベルトを敷設することで、歩行者、運転者の交通安全意識が向上した。
今後の課題等	危険な通学路から児童の命を守るため、今後ともグリーンベルトの敷設を進めていく。

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦



記

事業の名称	歩行者用ストップマーク設置事業
事業実施前の状況	児童の登下校時に利用する通学路に、交通事情の激しい危険な箇所があり、交通事故が発生しないかと気になっていた。
事業実施後の状況	交通事情の激しい危険な箇所にストップマークを設置したことにより、交通事故から子ども達を守る事ができる。
事業の効果	ストップマークを設置したことにより、子ども達はその場で一旦立ち止まる事により、交通事故を回避できる。
今後の課題等	地域内には、まだまだ危ない箇所があるので、順次設置に向けて対応したい。

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦



記

事業の名称	通学路の安全確保事業
事業実施前の状況	児童の登下校時に利用する通学路で、交通事故が発生しないかと気になる危険な箇所がある。
事業実施後の状況	児童の通学路の安全確保のため、車道と歩道との境に安全ポールを設置する。
事業の効果	安全ポールを設置することで、歩行者と自動車の間隔が確保され、交通事故の発生を防ぐことができている。
今後の課題等	地域内には、まだまだ危ない箇所があるので、順次設置に向けて対応したい。

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦



記

事業の名称	カーブミラー設置事業
事業実施前の状況	児童の登下校時に利用する通学路に、見通しの悪い交差点があり、交通事故が発生しないかと気になっていた。
事業実施後の状況	見通しの悪い交差点にカーブミラーを設置したことにより、交通事故から子ども達を守る事ができる。
事業の効果	カーブミラーの設置により、子ども達はその場の状況を判断できるようになり、交通事故を回避できるようになった。
今後の課題等	地域内には、まだまだ危ない箇所があるので、順次設置に向けて対応したい。

平成24年5月7日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦



記

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	前年までの4年間引き続き実施してきた事業であり、住民要望をはじめ協議会での検討も含め、未実施箇所への設置を予定。
事業実施後の状況	住民要望が届かず、関係部局との協議も整なかつたため、今年度は未実施となった。
事業の効果	防犯意識の向上を図る予定であったが、今年度は評価ができなかった。
今後の課題等	事業予定をしている事業が未実施にならないよう関係機関とも十分な打ち合わせをしていく。

平成24年5月31日

事業の評価書 評

池田市長 様

協議会名 くれは地域 協議会
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦 代表者

記

事業の名称	道路看板設置事業 <small>設置</small>
事業実施前の状況	地域内に行き止まりの道があるにも関わらず、表示がないため誤って進入する車両が後を絶たない。
事業実施後の状況	「この先行き止まり」である旨の看板を設置する <small>交通</small> ことで、誤って進入する車両が無くなった。
事業の効果	誤って進入した車両が方向転換する際、近隣の花の設壇等を傷つけたりする事もなくなり、地域住民にきるとして安全な生活を保障することができた。 <small>った</small>
今後の課題等	身近な問題の解決に向け、今後とも積極的に対 <small>て対</small> していきたい。

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれば地域
コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 荒木那彦



記

事業の名称	呉服小学校花いっぱい運動支援事業
事業実施前の状況	昨年度より引き続き実施している事業で、地域と学校が一緒になって花を育てる活動を支援する。
事業実施後の状況	「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」活動を支援する。
事業の効果	呉服小学校と地域が一緒になって花を育てるプロジェクトに参加し、子ども達が花を育てる喜びを感じ、感性豊かな心を育む事ができた。
今後の課題等	感性豊かな子ども達を育てていく事業にも、今後とも積極的に対応していきたい。